

# 八ヶ岳歩こう会 会報

## ■事務局からのお知らせ

◎夏本番 ご自愛ください。40度近い日も多いそうです。

それにしても日本列島は、どの季節も線状降水帯とゲリラ豪雨に脅かされる国になってしまいました。一体いつからでしょう。文部省唱歌「四季の雨」という歌を御存じですか。作者は不明ですが、日本の四季の移り変わりを、雨に託して細やかに表現しています。「降るともみえじ春の雨・にわかにも過ぐる夏の雨・おりおりそそぐ秋の雨・聞くだに寒き冬の雨」など、4番までありますが、それぞれの下に続く歌詞のなんとまあ情緒豊かな表現であることか。お時間のある方は是非ネット検索などしてみてください。

文部省唱歌を眺めていたら、何故か雨の歌が多いのですね。かあさんが「じゃのめでお迎え」してくれたり、雨降りお月さんでも「お嫁にい」ったり、五月雨のなかでも「早乙女が」田植えをしています。日本の雨はそんな情緒豊かな風景を作り出すので、歌にしやすかったのでしょうか。祇園さんのニュースを見ながら、せめてこの夏は昔ながらの「夕立」であって欲しいと願ったのでした。

◎年会費をまだ未払いの方は下記にお振り込みをお願いいたします。

### 【ゆうちょ銀行の ATM または窓口で振り込む場合】

郵便振替口座番号 00260-4-131954

加入者名 八ヶ岳歩こう会

### 【郵貯以外の金融機関から振り込む場合】

受取人 ゆうちょ銀行 ○二九店（ゼロニキュウ）

当座(ト) 0131954（当座です、お間違えないよう）

八ヶ岳歩こう会（ヤツガタケアルコウカイ）

◎退会員：佐保多美子さん(東村山市)、田丸千春さん(甲斐市)、小平光彦さん(北杜市)

---

## 【2023年8月の行事詳細】

### ■8月8日(火) 納涼ウォーク・大滝湧水鎮守の森と寿司ランチ

梅雨も明け今年も猛暑が予報されます。熱中症にもまげず水分補給に気をつけながら八ヶ岳高原の夏を満喫しましょう。

お馴染みの大滝湧水の裏山、鎮守の森の中を歩きます。南アルプスの展望と里山の原風

景に癒やされながらのウォークです。多めの飲み物を用意してご参加下さい。

ゴール後は近くのお寿司屋さんで納涼会です乾いた喉を潤しましょう、納涼会のみ申込みが必要です。

担当進藤まで電話または歩こう会メーリングリスト等でお願ひします。

- ・コース：小淵沢駅(トイレ)～大滝湧水鎮守の森～三峰の丘～八反歩堰～大滝湧水(トイレ)～小淵沢駅(トイレ)
- ・距離：6キロ
- ・集合：小淵沢駅 9時15分  
下り 甲府 8時16分 小淵沢 9時02分
- ・ゴール：小淵沢駅 12時
- ・参加費：会員 300円 一般 500円
- ・持ち物：飲み物、雨具、ダイアリー、保険証、マスクその他
- ・担当：進藤律子(090-8948-2017)／風路和子(080-6715-3826)

#### ◎納涼会(申込み制)

- ・場所：開江寿司(駅から徒歩3分) 12時頃から
- ・会費：3300円(税込み)
- ・定員：23名 ※7月28日現在、残り1名です。

#### ■8月21日(月) 江戸巡礼古道ウォーク～秩父三十四カ所札所巡り～第6回

##### 31番観音院～32番法性寺

江戸巡礼古道ウォークは第5回まで終了し34ヶ所札所のうち31番札所まで到達しました、残りの札所は3ヶ所ですが、巡礼古道の道のりは残り約35Km、これをあと3回で歩きます。第6回目は5回目のゴール31番からですが、国道299号線から31番札所は同じ道(約2Km)を往復することになるので、国道299号から31番への入り口をスタートとします。途中小鹿野の街中を歩きます、人口1万人程度の小さな町ですが、かつて江戸と信州を結ぶ主要な街道であった信州・上州道の宿場として栄えたころの面影を残しつつ、バイク好きの若者が集うライダーズカフェなどもあり、新旧を組み合わせた活気のある面白い街です。ここで少々時間をとり自由行動とします。かつて宮沢賢治が宿泊した旧本陣寿旅館を改修した観光交流館で観光情報をチェックできます。メイン通りをお店を覗きながら歩くのも良いですが、一步路地に入るとレトロな風景に遭遇します、素朴な路地を散策するのも良いでしょう。食事のできるお店もいくつかあるので、お好みの場所で昼食を摂ってください。「わらじカツ丼」というのがここ小鹿野の名物です、タレに付け込んだ特大のカツが当然のように2枚(草鞋ですから一足)乗った丼、年寄りにはちとヘビーなので要注意です。小鹿野の町並みを過ぎ何ヶ所かの沢を渡ると大日峠です、ここまでは少々上りが続きます。峠を越えれば32番法性寺はもう目の前です。秩父札所唯一の仁王門と鐘楼を兼ねた鐘楼門をくぐると正面に長い石段が続いています。この札所の奥の院には胎内観音が祭られた岩窟、大日如来が祭られた岩窟などがありますが、鎖を頼りに垂直に近い崖をよじ登るなどかなりの気力と体力を要するので今回は見送ります。

- ・コース：観音院(31番)入口→小鹿野町散策(昼食、トイレ)→大日峠→法性寺(32番)
- ・距離：約9Km

- ・集 合：平田家住宅前駐車場 7：00 甲府駅北口 7：50 道の駅はなかげの郷まきおか 8：30
- ・解 散：道の駅はなかげの郷まきおか 18：20 頃 甲府駅北口 19：00 頃 平田家住宅前 20：00 頃
- ・参加費：会員 500 円 一般：1,000 円 バス代 会員 5,500 円 一般 6,000 円(バス代は参加者数等により増減の可能性があります)
- ・持ち物：弁当(小鹿野の街中の食事処の利用も可能です)、飲み物、雨具、ウォーキングダイアリ(会員のみ)、保険証等
- ・担当者：大嶋俊壽(080-2044-4766) 多賀純夫
- ・申し込み：「バス乗車地」と「携帯番号」を添えて以下に申し込んでください。  
なお第5回に参加された方は既に申し込み済となっています、参加できない場合はキャンセルの連絡をお願いします。  
多賀純夫 Mail: taga-ya@pairhat.jp FAX: 0551-32-6877

#### ■8月28日(月) 観音平～三味線滝ウォーク

※雨天の場合は、9月4日(月)に延期します。

残暑の一日、高原の爽やかな風を感じながら森の散歩に行きましょう。観音平(標高約1,560m)から森林浴を楽しみながら三味線滝(標高1728.7m)までご案内します。途中の道は整備された道です。リーダーは健脚ではないので山道をユックリ歩きます。三味線滝の周りでは、黄色い花・オタカラコウが咲き、皆さんを歓迎してくれるはずです。森の中では野鳥の囀りや高原の爽やかな風に癒される事でしょう。皆様のご参加をお待ちしております。



- ・コース：道の駅こぶちさわ(トイレ) →(乗り合い)→ 観音平駐車場(トイレ) → 三味線滝 → 林道 → 観音平駐車場(トイレ・昼食) → 観音平周辺散策 → 観音平駐車場(トイレ) →(乗り合い)→ 道の駅こぶちさわ(トイレ)
- ・距 離：約6キロ
- ・集 合：道の駅こぶちさわ駐車場(端に止めて下さい) 9：00
- ・解 散：道の駅こぶちさわ 15：00 頃
- ・参加費：会員 300 円 一般 500 円
- ・持ち物：お弁当・飲み物・雨具・ウォーキング手帳・保険証など
- ・担 当：市川富美子(090-2622-3688) 小林光修(090-4676-2067)



- ・その他：コースが山道なのでトレッキングシューズや持っている方はストックを持参して下さい。

前日の16時の時点で、当日の降水確率が50%以上の場合は9月4日(月)に延期します。延期の場合はホームページに掲載し、メールでお知らせします。ホームページを閲覧できない方は担当者に問い合わせてください。

■8月30日(水) 饅絵巡りシリーズ第11回 9月13日(水)に延期しました。

---

【2023年9月の行事詳細】

■9月4日(月) ※観音平～三味線滝ウォーク(予備日)

■9月6日(水) 月例会 韮崎市民交流センター(ニコリ) 2階第9会議室 10:00

■9月13日(水) 饅絵巡りシリーズ第11回 富士見町立沢地区の饅絵巡り



今回は富士見の饅絵どころと言われる立沢の饅絵巡り。ここでは13ヶ所で蔵の饅絵を見ることができます。なかでもユニークなのは神社脇の蔵の妻壁に奔放に描かれた饅絵、左官さんの遊び心に思わず喝采を送りたくなります。地元の方にいろいろとお話を伺うことができました。土蔵の用途が無くなっている中、饅絵の多くは老朽化がすすんでいますが、補修したくとも職人さんがいなくなったりして保存は大変なのだそうです。土蔵に饅絵を施したのも「当時の流行だったんだよね」とのことでした。饅絵以外にも立沢大橋からの眺望、そしてお昼には「おっこと亭」でそばを楽しみ、謎

に包まれた稗之底古村址を歩きましょう。シリーズの中でも一番標高の高いところを歩くこのコース、夏でもちょっと涼しさを感じられるのではないのでしょうか。とはいえ残暑厳しく強い日差しの下でのウォークです、暑さ対策も忘れずに。

- ・コース：立沢農村公園(トイレ)－立沢(鰻絵 4 件)－神社(鰻絵 1 件)－立沢(鰻絵 3 件)－立沢大橋－おっこと亭(昼食・トイレ)－稗の底古村址－立沢(鰻絵 3 件)－立沢農村公園(トイレ)
- ・距離：約 13 km
- ・集合：9:30 立沢農村公園(長野県諏訪郡富士見町立沢)
- ・解散：14:50 立沢農村公園
- ・参加費：会員 300 円 一般 500 円
- ・持ち物：飲み物 雨具 ウォーキングダイアリー(会員のみ) 保険証等
- ・担当者：小澤 久(070-4219-7394) 村松光比古(090-6526-6737)
- ・その他：「そば処おっこと亭」での昼食を予定しています。事前に席を予約するため、希望者は当日朝の受付に申し出てください。なお、昼食持参の方は申し込み不要です。

<参考>もりそば+野菜天ぷら 3 点盛り 1500 円です。

- ・集合解散場所の立沢農村公園は富士見駅から 5km ほど離れたところにあります。直接集合場所に行けず電車利用で参加したい方には富士見駅～立沢農村公園を有志会員の車で送迎致します。駅からの送迎希望の方は八ヶ岳歩こう会メーリングリストにメールで申し込んでください。

なお、メールが利用できない方は担当者に直接電話でも結構です。

送迎利用者は富士見駅に 9:15 に集合、往復送迎費用 300 円を乗車させていただいた方に直接お支払ください。甲府方面からの列車時刻は以下のようになります。

甲府 8:16－韮崎 8:29－穴山 8:36－長坂 8:55－小淵沢 9:02－富士見 9:10

## 立沢大橋

立場川と県道茅野北杜韮崎線をまたぐ立沢大橋は高さ 40 メートル、全長約 606 メートル。広域農道八ヶ岳エコーラインの橋梁としては最長で、富士山や南アルプス甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳の眺望地としても有名です。

## 稗の底古村址(富士見町指定史跡)

稗之底村(ひえのそこむら)は、境方十八ヶ村に数えられる古村でした。「諏訪郡諸村並(ならびに)旧蹟年代記」(筆者不明幕末)に引用される天性十八年(1590)の「諏訪郡御検地御高帳」に高三十六石三升と記載され、僅かな田畑を耕して生計を立てていたが、ついにこの地を捨てて去らざるを得なくなった。その厳しい状況を、後の文書では「右稗之底村ノ儀、八ヶ嶽下ニテ地所至ッテ寒ク、作毛生イ立チ兼ネ、其二上野山伐リ尽クシ渡世難儀仕リ、正保年中立沢新田へ引越シ、其ノ後明歴年中以前ノ村方へ罷リ帰り家作仕リ候得共、前諸ノ通り渡世仕リ難ク候ニ付キ、乙事村へ引越シ住居仕リ中馬稼ギ等仕リ候」と記している。これは宝暦十三年(1763)中馬紛争に関する幕府普請方の産物改めが行われた際に、乙事村の役人が差し出したものである。稗之底村を放棄した村人が立沢村・乙事村に移住したことは、書面で明らかである。また、伝承によれば植松姓、北原姓、五味姓(一部)は稗之底より移住したという。ちなみに、このとき移転したという明歴二年(1656)銘の六地藏石幢が乙事に現存する。こんにち跡地は埋もれ、特定するの

は困難であるが、大先神社・屋敷平・稗之底の地名を残している。(富士見町教育委員会資料参照)

「ZOOM ママの気ままなウォーキング」より

<https://8236.jp/kimama/walk/aruku/hinosoko-0927.html>

■9月20日(水) 8の字ウォーク、もう一つの棒道

■9月27日(水) 風切りの里ウォーク

■9月30日(土) 城跡・館跡巡りシリーズ(12回) 柳沢吉保と甲府城ウォーク

甲府城は、別名・舞鶴城とも呼ばれて市民に親しまれています。秋分を過ぎる頃には、城内の樹木の葉が少しずつ色づんできています。

特に白壁の二重二階層の稲荷櫓は、辺りに溶け込んでより美しく見せてくれます。四季折々の景色を楽しませてくれます。

甲府市は、開府500年の長い歴史を誇っています。そんな中で、柳沢吉保は、ほんの僅かの期間でしたが甲府の藩主として城と旧城下町を大々的に整備しました。今の甲府の街の基礎をつくったと言われています。吉保・吉里親子時代は、城と旧城下町は一番輝いていたと言われます。(これぞ甲府の花盛り)

甲府の町は、先の空襲と都市開発等により残念ながら旧城下町の面影が殆ど失われてしまいました。そんな中で、吉保・吉里親子に関わる足跡を辿りながらのウォーキングになります。

コースの中で、県庁(別館)を訪れます。ご覧の通り、昭和5年に建築された赤レンガ造りを基調にした重厚な、当時の技術の粋を尽くした歴史的にも貴重な建築物だと思います。余計な話になります。別館を眺めていると、高倉健は三宅坂の旧帝国陸軍・参謀本部より、青年将校の姿で今にも颯爽と現れてきそうです。(動乱・高倉健、吉永小百合)映画のシーンを思い出してきます。

コースにおいては、車が多く通ります。十分に注意していきます。



- ・コース：甲府駅・南口信玄公像前(トイレ)→甲府城→(堺屋本店漢方薬・三枝豆店)→みどり橋→若松座跡→一蓮寺→市民会館(昼食・トイレ)→開運橋→県防災新館(トイレ)・県庁別館→甲府駅

- ・距離：約10KM

- ・集 合：JR 甲府駅・南口信玄公像前 9：50  
上り 小淵沢駅 8：48→甲府駅 9：38 下り 塩山駅 9：10→甲府駅 9：37
- ・解 散：甲府駅 15：00 頃
- ・参加費：会員 300 円 一般 500 円
- ・持ち物：弁当・飲み物・雨具・ウォーキングダイアリー(会員のみ)・保険証・その他
- ・担当者：田中哲夫(090-4927-5044)／小林光修(090-4676-2067)
- ・その他：今回は判っている範囲の旧地名の道を歩きます。境町通り→横近習町通り→甲斐奈通り→八日町通り→柳町通り→緑町通り→工町(たくみまち)通り→鍛冶町通り→桶屋町通り→魚町通り

---

### 【2023 年 10 月の行事詳細】

- 10 月 4 日(水) 月例会 韮崎市民交流センター(ニコリ) 2 階第 9 会議室 10：00
- 10 月 18 日(水) 鰻絵巡りシリーズ第 12 回
- 10 月 23 日(月) 紅葉の富士見高原(仮称)

---

### 【月例会】

- ・月例会は毎月一度の話し合いの場です。どなたも歓迎ですのでご参加下さい。

### 【例会参加者へ】

- ・特に表記のない例会は、雨天決行です。
- ・特別の場合を除いて事前申し込み不要です。
- ・例会は、どなたも参加できます。
- ・会員は会員証とウォーキング手帳を御持参下さい。(貰っていない方は事務局へ)
- ・タイトルの前に※印があるのは当会主催ではありません。  
他会主催の場合の詳細はそれぞれの主催者にお問合わせ下さい
- ・例会についての質問は、担当者名が掲載されていればそこへ。それ以外は事務局へ。  
八ヶ岳歩こう会事務局 / 多賀純夫 電話 0551-32-5888 FAX 0551-32-6877